

★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:500252 1口1000円～ にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:500251 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★JOSO脱プラ基金は注文番号:500254 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。

2022-23年度活動テーマ「つくと食べるでつながろう ～私たちの地産地消～」

「子ども支援プロジェクト2023冬」 & 「県内大学生への食の支援」 ご協力をお願いします！

2018年より始まった、フードバンク茨城主催の「子ども支援プロジェクト」ですが、今回も協同組合ネットいばらきより「県内ひとり暮らし大学生 食の支援」の協力のお願いがありました。

栄養や食料の摂取を学校給食に頼っている子どもたちに、学校給食のない冬休みでの食の支援食料品を425世帯に配布する予定です。食べものを届けるだけでなく、一緒に手紙なども添えて、孤立しがちな世帯との心の交流も行います。

また、物価高騰の影響により、食費を切り詰めて生活している大学生を対象に、大学生協等と連携して食の支援を行います。今回は茨城大学の学生食堂において「カレー200円（100円割引）」などのキャンペーンを実施予定です。

そのためにはみなさまのご支援が必要です。ご協力よろしくお願い致します。

●私たちが出来る事

①食料支援：常温管理できる食品の寄付

- お米、じゃが芋・玉ねぎなど貯蔵性のある農産物、シリアル、お菓子、缶詰、レトルト食品、飲料など1カ月以上賞味期限が残っているもの。
- 賞味期限の表示を事前によくご確認下さい。
- お米は可能な限り精米してご提供いただきますようお願いいたします。
- お米（精米、玄米）を寄付する時は事前に害虫等の発生等のないことをご確認ください。
- お酒類、健康食品、ペットフードは受付しておりません。



※次ページに続きます。

2023年12月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●	○提携・協同・連帯企画●
○「常総つ子応援団」ゴンタで遊ぼうin流星台プレイパーク ※毎週木曜日に外遊び活動をしています！ ・12/2(土) ローストビーフ講座 ・12/16(土) 歴史講座 ・12/20(水) 定例理事会	・12/3(日) あいコープふくしま祭り ・12/6(水) 東海第二原発差止訴訟原告団世話人会 ・12/17(日) 関東子ども健康調査支援基金年次報告会

★供給便、きずなBOXにて回収いたします。

回収期間：11/27(月)～12/8(金)

- きずなBOXの設置場所
 - 生協本部入口の1階ロビー
 - 常総生協戸頭店
- 供給便での回収
 - 期間中の供給時に供給担当にお渡しください。
 - 大きな物（お米30kg袋・段ボール箱に入っている物など）は、トラックに載せきれない場合がありますので、事前に生協本部までご連絡ください。

②活動支援金を寄付する

食料をお届けするために必要な梱包資材、運送費などに充てます。

- JOSOたすけあい基金より以下の団体に寄付を行います。
 - NPO法人フードバンクちば
 - 協同組合ネットいばらき
- 12月1回～12月2回注文時に特別支援をお願いします。
 - JOSOたすけあい基金：ご注文の際、注文番号**500253(1口500円)**でお受けしています。
 - 今回の支援金の一部を、冬に支援する予定の「手づくりみそ」の材料の購入代金に充てさせていただきます。

③手作り味噌パック詰め作業&会場設営・食品仕分け作業

常総生協では昨年より、みそ講習会で手作りした味噌を小分け・真空パックにして、寄付しています。

日程；12/5（火）10時～12時 13時～15時

12/6（水）10時～12時 13時～15時

場所；常総生協本部2階 調理室

また、集まった支援物資の仕分け作業などのお手伝いも募集しています。

日程；12/13（水）9時～16時

場所；牛久会場 末日聖徒イエス・キリスト教会牛久ワード
(牛久市牛久町3318-35)

③に参加される方は以下の申込用紙にご記入の上、
供給便またはFAX（0297-45-6675）で、提出お願いいたします。

-----キリトリ-----

子ども支援プロジェクト2023冬・県内大学生食の支援の作業・ボランティアに参加します

※締め切り：12/1までにお申込み下さい。[常総生協HP](#)にも掲載しています。

組合員氏名 _____ 組合員番号 _____

日中連絡が付く連絡先 _____

★参加される作業に✓をお願いします

☐ **手作り味噌パック詰め作業に参加します**（参加できる日程に✓をお願いします）

☐ 12/5（火）10時～12時 ☐ 12/5（火）13時～15時

☐ 12/6（水）10時～12時 ☐ 12/6（水）13時～15時

☐ **12/13（水）食品仕分け作業に参加します**

WEBフォームからも申し込めます！→





「第10回年次報告会」 & 「安定ヨウ素剤の学習会」のお知らせ

関東子ども健康調査支援基金の甲状腺検診活動は2023年10月より11年目に入りました。発足当初から組合員の皆様から支援いただき、現在は注文番号からのご寄付も頂いております。心より感謝申し上げます。来る12月17日（日）に10回目となる「年次活動報告会」及び「安定ヨウ素剤についての学習会」を行いますので是非ご参加ください。

※ヨウ素剤の配布はありませんのでご了承ください

【関東子ども健康調査支援基金について】

2011年の福島原発事故は関東にも放射能汚染をもたらしました。2012年6月に「原発事故子ども・被災者支援法」ができましたが閣議決定で福島県のみが対象地域とされ、関東では公的な健康調査は行われないことに。そのような背景のもと、「子どもたちを守りたい」という思いから茨城・千葉の女性5人が呼びかけ人となって常総生協と共に2013年に立ち上げたのがこの基金です。常総生協は発足当初より事務局を担っています。会員を募り、寄付を集めてエコー機1台を購入。心ある医師・技師の方々に協力を依頼し、巡回型の検診様式を考えて、関東の18の団体と連携して検診をしてきました。検診のエリアは1都5県（栃木・茨城・千葉・埼玉・神奈川・東京）に及び、これまでにのべ11,000人を超える方が受診されました。報告会では今期（2022年10月～2023年9月）受診された約350人の検診結果概況と会計報告、今後の検診について運営団体との意見交換などを行います。

【安定ヨウ素剤学習会】

原子力災害によって放出される「放射性ヨウ素」の被ばくによって、甲状腺がんを引き起こされることが知られています。しかし、事前に「安定ヨウ素剤」を服用すると甲状腺が放射性ヨウ素を吸収するのを押さえ、「甲状腺がん」のリスクを低減することができます。講師の青山浩一先生は鹿児島市にある「ますみクリニック」の院長先生で、3.11以降早くから川内原発（せんだいげんぱつ）がある鹿児島県で安定ヨウ素剤の重要性をひろめ、配布会を行っています。また、2019年より当基金の甲状腺検診にも協力いただいています。学習会では、被ばく防護の観点から原発事故が起きたらどんな行動をとればいいのか、ヨウ素剤はいつ、どれくらい飲めばいいのか、どんな人は飲んではいけないのかなど教えていただきます。

今回は**常総生協組合員活動室の会場とZoom視聴を併用して行います**。下記の申し込みフォームから 事前にお申し込みください。会場のお席には限りがある為、お申込み状況によってZoomへの変更をお願いさせていただく場合があります。

日時 2023年12月17日（日） 10:30～12:30

- ◆10:00 生協組合員活動室開場 ◆10:20 Zoomオープン
- ◆10:30 年次活動報告会
- ◆11:40～12:30 安定ヨウ素剤についての学習会（※配布はありません）

申込はこちらへ <https://x.gd/wbDEt> スマホはQRコードから⇒⇒

- 対象：基金会員と生協組合員 ●**要事前申込。12月10日締切**
- 途中入場、退出可。参加費無料です。

お問い合わせ先 基金事務局（担当 木本） 電話0297-38-8539 メール ibachiba@kantokodomo.info ホームページ <https://kantokodomo.info>

